

役員学習会

心もからだもスッキリ！ 快適睡眠術

公益社団法人ふくい・くらしの研究所 第25回総会記念講演会

睡眠はその日の疲れをとるため、マイナスをゼロにすると考え、てしまいがち。しかし、質のいい快眠は、プラスのポジティブな力を生み出すものです。よく眠れるようになると、健康や美容、脳などすべてにおいて好影響を与え、人生が充実していきます。眠りにこだわって、より豊かに生きるための快眠術を学びましょう！

講師
三橋 美穂 氏
有限会社Sleeppeace(スリーピース)代表
快眠セラピスト/睡眠環境プランナー



～プロフィール～
寝具メーカーの研究開発部長を経て2003年に独立。これまでに、1万人以上の眠りの悩みを解決してきており、とくに枕は頭を触っただけで、どんな枕が合うかわかるほど精通している。主な著書に「眠トレ!」(三笠書房)ほか、日本語版を監修した「おやすみ、ロジャー 魔法のぐっすり絵本」(飛鳥新社)はシリーズ累計115万部を突破。わかりやすく実践的なアドバイスには定評があり、NHK「あさイチ」、TBS「ひるおび!」、日本テレビ「ヒルナンデス!」などテレビ番組にも出演多数。

参加費 **無料**
定員 **80名** (先着順)
どなたでもご参加いただけます。
申込必要
6月30日(木) 締切

申込方法
お申込コードを読み取るか、くらナビHP (http://www.kuranavi.jp) からお申込みください。

お問い合わせ先
(公社)ふくい・くらしの研究所
☎ 0776-52-0626
【受付時間】平日 9:00~18:00

2022年 7月2日(土) 11:00~12:30
(開場10:30)

場所 福井県民生活協同組合 本部センター
福井市開発5丁目1603番地

同所を拠点としたオンライン形式(Zoom)でも配信いたします。ご希望の場合は、申込の際メールアドレスを必ず記載してください。

※新型コロナウイルス感染症対策として、手指の消毒、マスクの着用、室内の換気、参加者同士の十分な距離の確保などを徹底して行います。ご参加の皆様におかれましては、マスクを着用してご出席いただくこと等の対策と共に、風邪のような症状のある方につきましてはできるだけ参加を控えていただきますよう、お願いいたします。
※ハイブリッド形式にて開催の予定ですが、新型コロナウイルス感染症の影響によりZoomを使ったオンライン講座のみになる可能性があります。講座形式変更の際は、追ってご連絡いたします。

主催/公益社団法人ふくい・くらしの研究所 福井県生活協同組合連合会
福井県民生活協同組合
後援/福井県 福井新聞社 FBC 福井テレビ

ふくいの生協

福井県生活協同組合連合会
〒910-0842 福井市開発5丁目1603番地(県民生協本部センター内)
TEL0776-52-8815 FAX0776-52-2050 Eメールアドレス kenren@fukuicoop.or.jp

2022年6月2日 No.135

<http://www.fukui.coop/kenren/>

福井県生協連合会

第25回 *Let's clean the coast!* **参加者募集**

海岸クリーンアップ

1997年の「ナホトカ号重油流出事故」をきっかけに毎年実施し、今年で25回目になります。

1	9月3日(土) 9:00~10:00	鷹巣海水浴場
2	9月10日(土) 9:00~10:00	三国サンセットビーチ

持ち物 ゴミ袋は事務局で用意します。その他の帽子・軍手・汗拭きタオル・火はさみなどは各自ご用意ください。
※悪天候により、事前に中止する場合があります。その際には連絡いたしますので、申し込み時に連絡先(電話番号)をお聞かせください。
※行事保険に(事務局負担で)加入します。

お申し込み・お問い合わせは 福井県生協連合会まで
協賛: 福井県企業等ボランティア・社会貢献連絡会

会員生協ボランティア活動 支援助成のご案内

福井県生協連合会加盟生協のボランティア活動を支援します。

対象期間 2022年4月1日より2023年3月31日までの期間の活動を対象とします。

〈申請締め切り〉 第一次申請……2022年6月30日
第一次申請以降…予算額(総額60万円)に達するまで

① 一般ボランティア活動部門
〈助成金額〉 1生協5万円を上限とします。
〈申請対象となる活動分野〉
福祉…身体障害・知的障害・精神障害者、難病・長期疾病者、高齢者などの社会生活を豊かにするなどの活動
環境…自然保護、環境保全、リサイクル活動や環境保全に関する啓発などの活動
教育…子どもの健全育成、子育て支援などの活動
国際協力…留学生・研修生などの外国籍市民との交流、途上国への協力などの活動
その他…県連理事会で承認されたボランティア活動

② 東日本大震災復興支援活動(交流活動含む)部門
〈助成金額〉 1生協10万円を上限とします。
〈申請対象となる活動分野〉
東日本大震災復興支援活動(地元避難者支援、現地復興支援、復興支援交流活動など)を支援します。

問い合わせ先
それぞれの会員生協窓口、または 福井県生協連合会窓口まで。

福井県労福協・
こくみん共済coop(福井県労済生協)主催

「防災・減災講演会」が 開催されました

「防災減災の意識を高め、災害に備える危機管理」、また近年の異常気象で災害が多発している現状から、「気象情報をいかに防災につなげるか」について、専門家2人の講師をお招きした「防災減災講演会」が開催されました。

3月12日(土) Web方式による講演生配信で、56名の方が参加されました。



▲挨拶されるこくみん共済coopの杉本本部長

第1部

「家族で学ぶ防災・減災」

講師 危機管理教育研究所 代表 国崎 信江 氏



いつ起こるかかわからない自然災害への備えは、防災グッズや非常食などの他に、情報収集の準備も必要であり、リアルタイムで大雨による災害発生危険度を確認できる『キククル』などの防災アプリが役に立つとお話しされました。(『キククル』は気象庁が運用しています)

また、非常持ち出し品を備えることだけでなく、自宅の耐震性の確認・家族との連絡方法や集合場所の確認・避難経路の確認・応急手当の習得など大切な備えは様々あり、「これらの防災対策で重要なことは、一度行ったらおしまいではなく、継続しながら新しい情報をアップデートすること」と締めくくられました。防災対策を家族で継続するためのアイデアとして、「福井市防災センター」に親子で行って学ぶこともお勧めされていました。

第2部

「防災気象情報とその利活用」

講師 福井地方気象台 村井 雅浩 氏



大切な命と財産を守るための、防災気象情報の利活用をテーマに講義いただきました。

災害は、地形条件に直接的な引き金(大雨、暴風、大雪など)が加わることで発生するので、地域を理解し、地域の災害を知るために、ハザードマップで地形・地質を確認しておくことの大切さを説かれました。

気象用語や災害情報の活用の詳しい解説の他、北陸地方の天候の特徴と災害の関係についてもお話しいただきました。



KC's NEWSより活動紹介

適格消費者団体 特定非営利活動法人 消費者支援機構関西(略称KC's:ケーシーズ)は、消費者が安心して生活できる社会を実現するため、不当な勧誘行為や不当条項の契約書など事業者の不当な行為に対して中止を申し入れたり、差し止め請求権を行使(裁判をおこす)できる組織です。福井県生協連はKC'sの団体正会員としてKC'sの活動を支援しています。



株式会社プレミアムコスメが通信販売サイトで販売する「極み菌活生サプリメント」の広告表記および解約方法について差し止めを求め「申入書」を送付しました

同社が通信販売サイトで販売する「極み菌活生サプリメント」の広告表示や解約方法について検討した結果、同社に対し、2021年3月26日付「お問合せ」を送付し、同社から同年4月6日付で回答をいただきました。同社からの回答を検討した結果、不当景品類及び不当表示防止法と消費者契約法上の問題があるとの判断に至り、下記のとおり2021年7月7日付で「申入書」を送付しました。詳細は下記URLをご参照ください。
http://www.kc-s.or.jp/detail.php?n_id=10001138



サメ軟骨由来成分を含有する健康食品が変形性膝関節症等の症状改善に効果があるかのように広告を行っている、ヨシキリザメ研究室に対し「要請書」を送付しました

ヨシキリザメ研究室(以下「研究室」)は、サメ軟骨由来成分を含有する健康食品が変形性膝関節症をはじめとする疾病に関し、治療・予防の効果・効能を有する旨を新聞折り込みチラシで広告しています。これについて、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(以下「薬機法」という。)に違反するものであると判断し、表示をやめるよう、2021年10月5日付で「要請書」を送りました。詳細は下記URLをご参照ください。
http://www.kc-s.or.jp/detail.php?n_id=10001104

【要請の趣旨】

研究室が行う広告において、サメ軟骨が、変形性関節症・ヘルニア・腰痛・リウマチ・糖尿病・高血圧・骨粗しょう症・脊柱管狭窄症・腰椎症・前立腺炎・ヘバーデン結節・外反母趾・その他一切の疾病に関し、治療・予防の効果・効能を有する旨を表示することをやめてください。



株式会社メルカリが運営するオンライン・フリーマーケット・サービス「メルカリ」においてユーザー(出品者・購入者)間あるいはユーザーと第三者間でトラブルが発生した場合における株式会社メルカリの対応に関する問い合わせと問題点の指摘

株式会社メルカリ(以下「同社」という。)に対し、同社が運営するオンライン・フリーマーケット・サービス「メルカリ」におけるユーザー(出品者・購入者)間のトラブル対応・ユーザーと第三者間のトラブル対応において準拠されるメルカリ利用規約(第11条4項・第21条4項)とガイド「メルカリあんしん・あんぜん宣言」の解釈及び両者の関係等を中心として、消費者保護の観点から、トラブル発生時における同社の対応、メルカリ利用規約、ガイド「メルカリあんしん・あんぜん宣言」の解釈・運用について、問合せや問題点の指摘を行いました。詳細は下記URLをご参照ください。

http://www.kc-s.or.jp/detail.php?n_id=10001154